



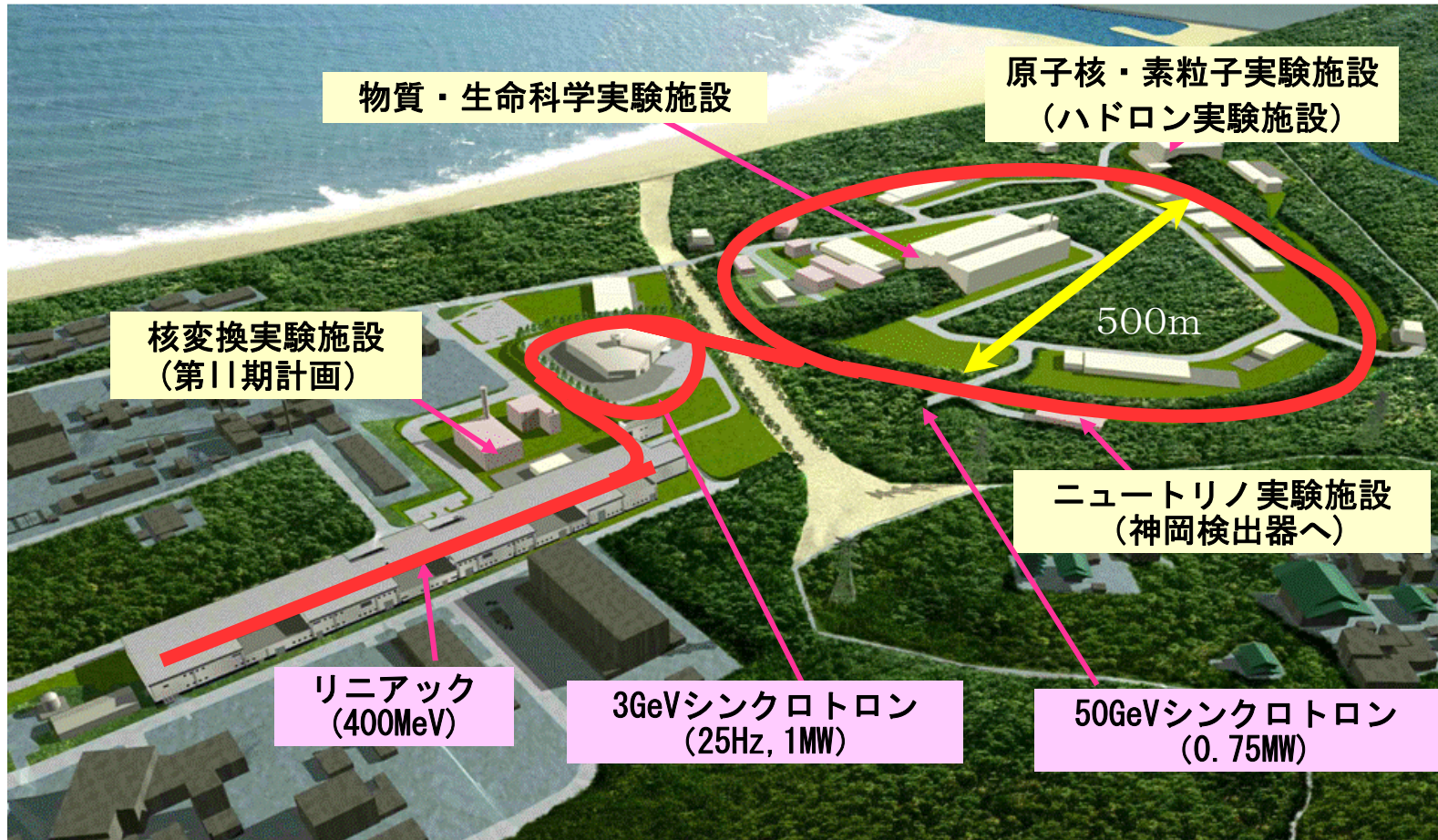
J-PARCの現状について

平成20年4月22日

文部科学省
研究振興局基礎基盤研究課
量子放射線研究推進室長
林 孝浩

J-PARC 大強度陽子加速器施設

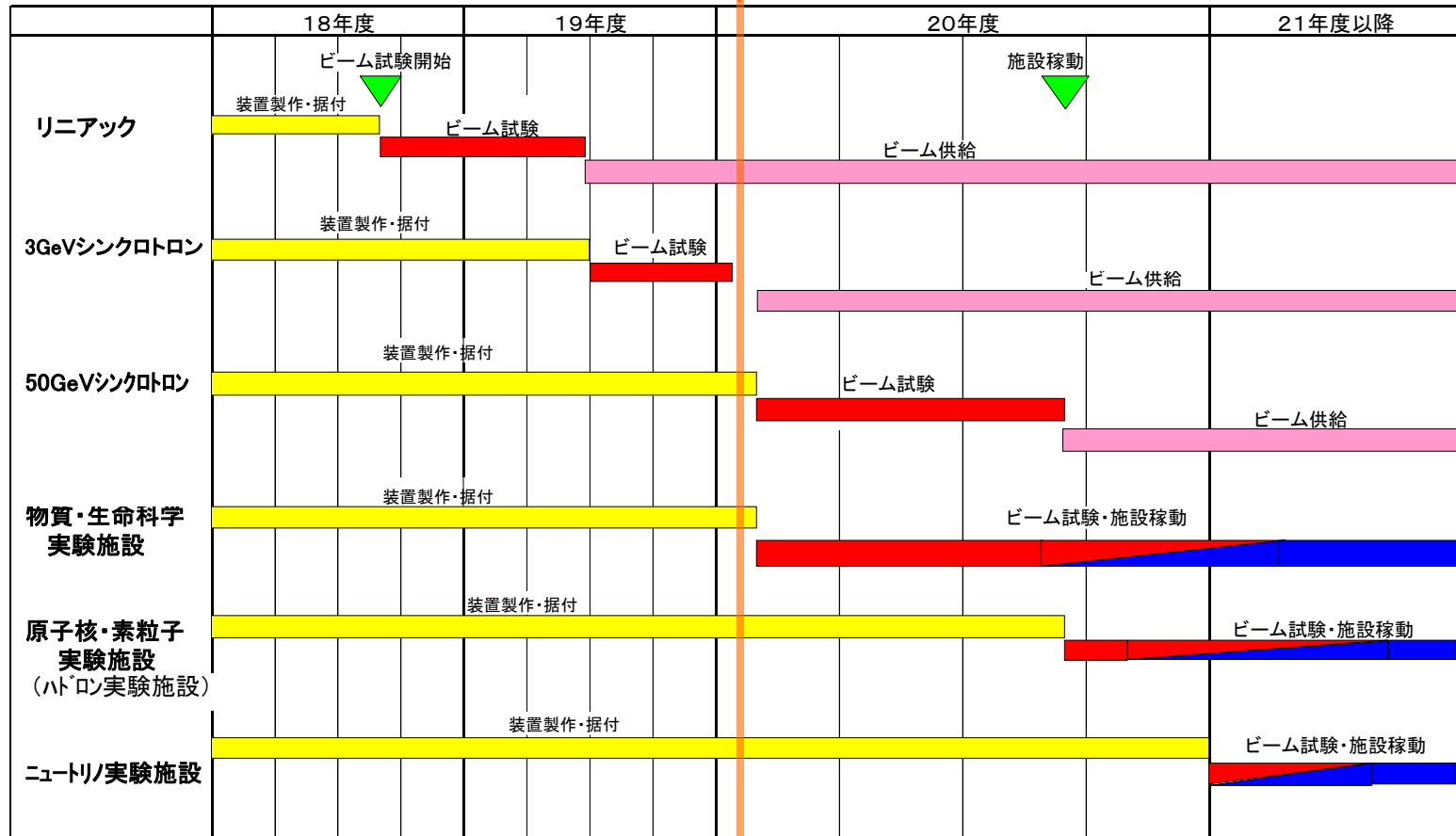
世界最高レベルのビーム強度を有する複合陽子加速器施設により多彩な二次粒子を用いた新しい研究手段を提供し、物質科学、生命科学、原子核・素粒子物理学など、基礎科学から産業応用までの幅広い研究開発を推進する。



日本原子力研究開発機構 と高エネルギー加速器研究機構の共同事業

J-PARC計画のスケジュール

現在



平成20年度後半から物質・生命科学実験施設及び
原子核・素粒子実験施設の供用開始を予定

現在のJ-PARC

(現在、8割程度が完成)



機器整備中

原子核素粒子(ハドロン)実験施設
(平成20年度後半から供用開始予定)



通電試験中

50GeVシンクロトロントンネル
(平成20年5月からビーム試験開始予定)



建家建設中

ニュートリノ実験施設
(平成21年度から供用開始予定)



50 GeVシンクロトン

ここまで
ビーム
加速中

3 GeVシンクロトン棟

リニアック棟



物質・生命科学実験施設
(平成20年度後半から供用開始予定)



3GeVシンクロトロントンネル
(平成19年10月からビーム試験開始)

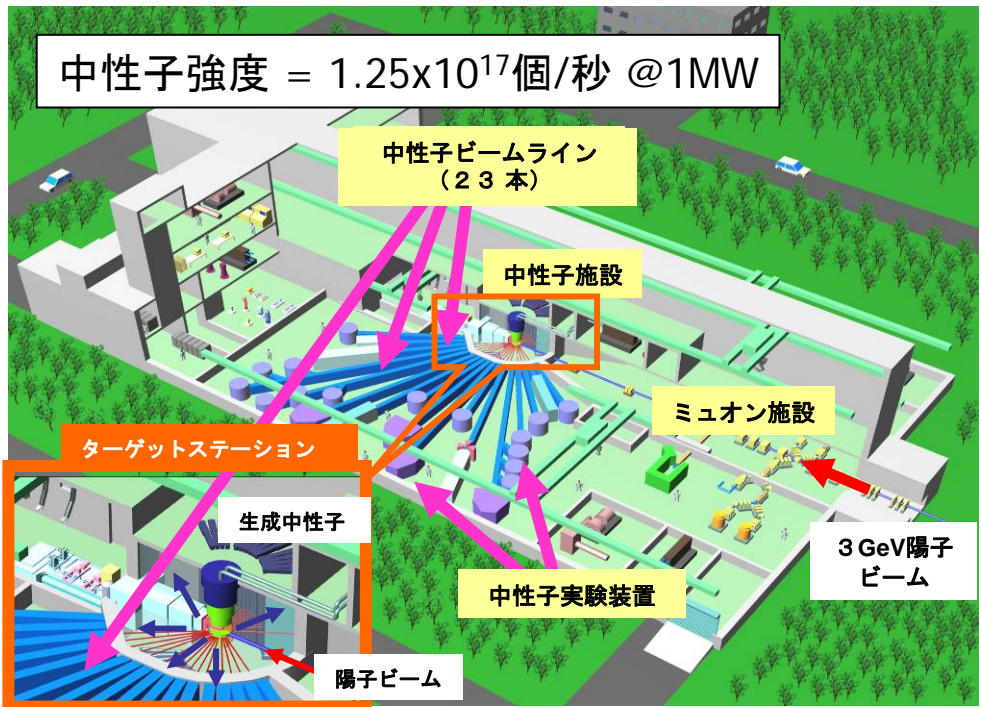
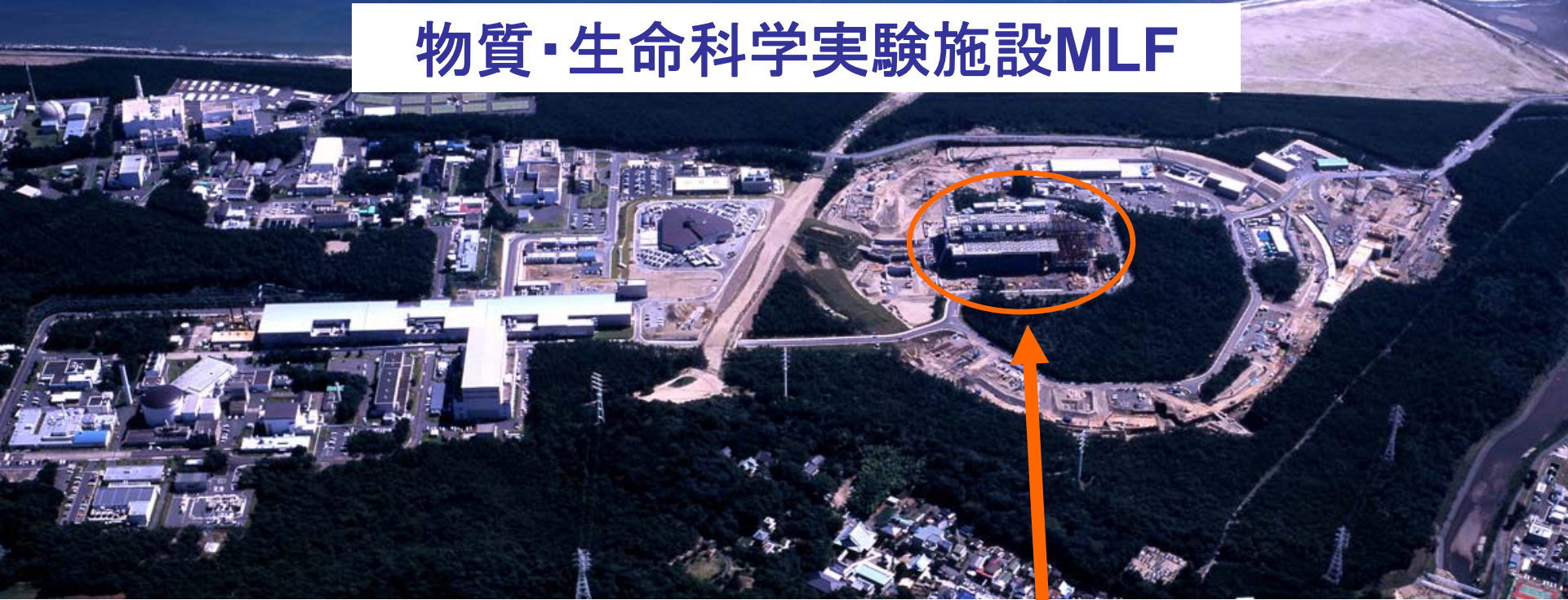


リニアック棟加速器トンネル
(平成18年11月からビーム試験開始)



第2実験ホール

物質・生命科学実験施設MLF

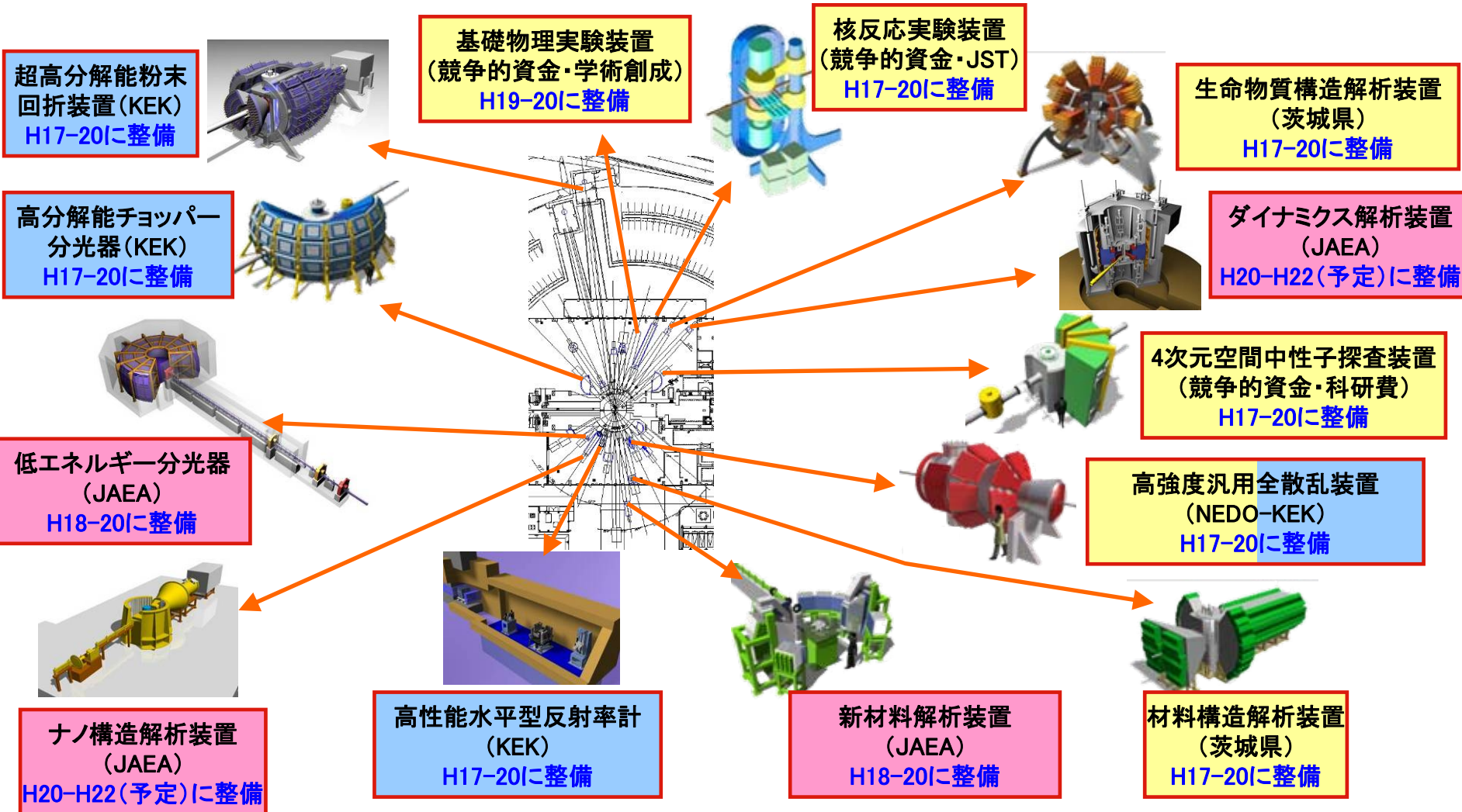


米国のSNS 計画(1GeV、1.4MW、2007年完成)と類似の中性子源及びミュオン施設

中性子実験装置の整備

・ 主なマイルストーン

- 平成20年5月に1st beam
- 平成20年度後半から利用開始



設置者

<div style="display: inline-block; width: 20px; height: 15px; background-color: #FFC0CB; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></div> JAEA	<div style="display: inline-block; width: 20px; height: 15px; background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></div> KEK	<div style="display: inline-block; width: 20px; height: 15px; background-color: #FFFF00; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></div> 第三者
---	--	--

J-PARCの予算

◆平成20年度予算

本体建設を完了させ、ビーム試験を実施するとともに、20年度後半から各実験施設におけるビーム供用を開始するために必要な経費などを計上。

総額189億円(前年度311億円)

うち 原子力機構分	73億円(179億円)
・運営費交付金	45億円(25億円)
→運転維持費42億円	
＝物質・生命科学実験施設が2サイクル44日利用	
・施設整備費補助金	28億円(154億円)
高エネ機構分	116億円(132億円)
・運営費交付金	52億円(43億円)
→運転維持費25億円	
＝原子核・素粒子実験施設が2サイクル38日利用	
・施設整備費補助金	64億円(89億円)